

東京合唱協会

東京合唱協会は、'84年4月、常任指揮者に内藤彰を擁し、結成されたプロ合唱団です。オペラや色々なコンサートでソロ活動をしている声楽家を中心にして組織され、これまでに定期演奏会、各地での特別演奏会、ファミリーコンサート、オペレッタ公演、テレビ出演等の他、学校音楽教室、NHK学校放送、教育用レコードの録音等、教育関係でも幅広く活躍しています。特に定期演奏会の模様は「音楽の友」でも大きく取り上げられ、NHK FMやTBS「百万人の音楽」からは特集番組として、放送されて話題を呼びました。ステージも年間約80回を越え、東京合唱協会により初演された曲も数十曲を数えます。

ニューシティ室内管弦楽団

1987年に発足したニューシティ管弦楽団のメンバーで構成されている。ニューシティ管弦楽団は、音楽監督、常任指揮者に内藤彰を擁し、特に昨年9月に行われたユニバーサルパレエ日本公演における一連の演奏は、当パレエ団関係者をはじめ、日本のパレエ界の重鎮達からも大変な好評を得た。また、11月には、レナータ・スコットとアルフレード・クラウスの伴奏をつとめ、今年1月には韓国のソウルで6公演を行なう等着実に実力を高めている。今年6月14日には、待望の第一回定期演奏会を東京文化会館にて開催予定。

内藤彰（常任指揮者）

名古屋大学理学部卒業。在学中より山田一雄氏に師事する。その後桐朋学園大学研究科（指揮専攻）にて、小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明他に師事する。'84年「東京合唱協会」設立まで3年間、勸山形交響楽団の専属指揮者を勤め、'87年には「ニューシティ管弦楽団」を設立。中堅指揮者として幅広い活躍をしている。他に東京交響楽団、東京フィル、新日本フィル、シティーフィル、新星日本交響楽団等、多くのオーケストラを指揮している。

東京合唱協会

音楽監督・常任指揮者

内藤 彰

指揮者

家田 厚志
池田 浩行

ピアノ

清水 良枝
松村 結子
高畑 多恵

インスペクター

遠藤 恵子
山本 義人

ソプラノ

池田 友美
今村由美子
岩井 秀子
卜部 博子
栗田真希子
小林 悦子
只野裕美子
田中 美香
寺元 紫
六角玲子
山館ア子
吉海江令子

アルト

石田 幸子
稲葉 洋子
遠藤 恵子
北川 桜
小山はる美
鈴木 光子
千川 美幸
高木 朋子
田村真寿美
伴 真純

テノール

有銘 哲也
三田流茶
下村 正人
山本 義人
吉田 顕
渡辺 直人

バス

石井 敏郎
井上 白葉
植田 真史
大沢 建
香川 郷
東嶋 正彦
星野 克美

1990年4月1日(日)PM2:00

東京文化会館(小ホール)

指揮

内藤 彰

演奏

ニューシティ室内管弦楽団

福音史家 佐藤淳一

イエス 東嶋正彦

ピラト 大沢 建

ソプラノ 岩井秀子

アルト 伴 真純

テノール 山本義人

バス 大沢 建

合唱 東京合唱協会

主催/東京合唱協会

協賛/アルファ芸術協会

マネジメント/ベアト音楽事務所

東京合唱協会 ■ 第8回定期演奏会 ■

ヨハネ 受難曲

(J.S. Bach)

〈日本語上演・アリアのみ原語〉

プログラム

- 第一部 第1曲 主よ、その誉れが〈合唱〉
第2曲 イエスは弟子たちと一緒に〈福音史家・イエス〉
第3曲 おお、大いなる愛よ、おお、限りない愛よ〈コーラル〉
第4曲 それは、「あなたが与えてくださった人を」〈福音史家・イエス〉
第5曲 主なる神よ、あなたの御心が行なわれますように〈コーラル〉
第6曲 そこで一隊の兵士と千人隊長〈福音史家〉
第7曲 わたしのさまざまな罪のしからみから〈アリア：アルト〉
第8曲 シモン・ペトロというもう一人の弟子は〈福音史家〉
第9曲 わたしもまたあなたに喜び勇んでついて行こう〈アリア：ソプラノ〉
第10曲 この弟子は大祭司の知り合いだったので〈福音史家・女中・ペトロ・イエス・下役〉
第11曲 あなたを打つのは誰なのか〈コーラル〉
第12曲 アンナスは、イエスを縛ったまま
第13曲 ああ、わたしの想いよ〈アリア：テノール〉
第14曲 ペトロは思い返すこともなく〈コーラル〉

休けい

- 第二部 第15曲 キリストはわたしたちに至福を与えられ、
第16曲 人々は、イエスをカイアファのところから〈福音史家・ピラト〉
第17曲 ああ、偉大な王よ、いかなる時にも偉大な君よ
第18曲 そこで、ピラトが言った〈福音史家・ピラト・イエス〉
第19曲 とくと見なさい、わたしの心よ、〈アリオソ：バス〉
第20曲 兵士たちは茨で冠を編んでイエスの頭に載せ
第21曲 神の子よ、あなたが捕らわれたことにより〈コーラル〉
第22曲 しかし、ユダヤ人たちは叫んだ〈福音史家〉
第23曲 急ぎなさい、惱める魂たち……逃れなさい—どこへ、〈アリア：バス〉
第24曲 そこで、彼らはイエスを十字架につけた〈福音史家〉
第25曲 わたしの心の奥底では〈コーラル〉
第26曲 兵士たちは、イエスを十字架につけてから〈福音史家〉
第27曲 彼は全ては気を配られた
第28曲 そのときから、この弟子はイエスの母を〈福音史家・イエス〉
第29曲 成し遂げられた〈アリア：アルト〉
第30曲 そして頭を垂れて息を引き取られた〈福音史家〉
第31曲 わたしのだいじな救い主よ…イエスよ、あなたは亡くなりましたが〈アリア：バス〉
第32曲 見よ、そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで〈福音史家〉
第33曲 私の心よ、全世界が〈アリオソ：テノール〉
第34曲 融けて、流れよ、わたしの心〈アリア：ソプラノ〉
第35曲 その日は準備の日で、翌日は特別の安息日であったので〈福音史家〉
第36曲 おお、助けたまえ、キリスト、神の子よ〈コーラル〉
第37曲 その後、イエスの弟子でありながら〈福音史家〉
第38曲 憩え安らかに、聖なる御身体よ〈合唱〉
第39曲 ああ主よ、あなたの愛らしい天使をつかわし〈コーラル〉

●ソリストの紹介

福音史家：佐藤淳一



84年2月、東京合唱協会創立のきっかけになったオペラマタイ受難曲において、福音史家を名演。その時、共に出演していた後の東京合唱協会の主力メンバーからも大好評。

イエス：東嶋正彦



出演は少ないが、今回の最も重要な人物。その誠実な歌唱と人柄は、聖書に出てくるイエスに最適。

ピラト・バス：大沢 建



団、創立時からのメンバーで、彼の「魔王」は絶品。今回の「ヨハネ受難曲」の翻訳でも大活躍。彼の独語と聖書に対する深い造詣に拍手。

ソプラノ：岩井秀子



彼女ほど、入団後に歌唱力をアップさせたメンバーもめずらしい。細い体からの名唱も、教員生活をやめてまで、さらに5年間も学生生活を送った根性を見れば納得。

アルト：伴 真純



彼女の「カルメン」は当り役でその立派な声と妖艶な演技は多くの男性メンバー達を魅了してきたが、現実生活では？

テノール：山本義人



若いながら我輩のインスペクターとして、男声のまとめ役に大活躍。又、コンサートの名司会中に時折見せるタレント顔負けのアクションは、ヤングギャルの人気のもと。

ヨハネ受難曲（日本語版）上演にあたって

バッハは当時の伝統的な作曲技法であるポリフォニー（多声音楽）の大家であり、その作品は言うまでもなく厳格な音の理論体系によって支配されています。

しかし彼はそうして作られた器楽曲よりも当時イタリアを中心に花を咲かせつつあった、人間の感情や思考と結びついた言葉に基づく音楽 すなわちモンテヴェルディのマドリガル 等で代表される歌の分野において、より重要な働きをしました。中でも、特にバッハは人間による言葉だけでなく、人間に与えられた神の言葉（聖書）の伝達的手段に音楽を活用し、数多くの名作を生んでいます。

その代表作の一つである「ヨハネ受難曲」は主に聖書のヨハネ伝からキリストが取られ、キリストの受難の場面を具体的に描いた壮大な宗教ドラマであります。当時ルター派の熱心なクリスチャンであったバッハは、この音楽を活用し、その生々しいほどのやりとりを通して、聖書ドラマを民衆に伝播させようとした。

私達は、今宵、この名作を取り上げるにあたって、数々の困難の中でも、何を中心に考え、演奏すれば、こういったバッハの意を一番汲むことになるかを熟慮した結果、日本人である歌い手と聞き手が、ともに言葉を理解しつつ、音楽劇を進行できる状態、すなわち原語である独語の翻訳で、演奏されることが、例え、それにより多少の音楽上の弊害を生む可能性があるとしても、不可欠であると考えました。

しかし、御承知のように、歌の、特に宗教曲の翻訳ほど難しい作業はありません。ただ、日本語に訳すだけでなく、聖書の内容をあまり知らない人にも理解できるよう、多少の解説的な言葉も加えた平易な訳で、なおかつ聖書の持つ気品、崇高さを保たなければなりません。さらに、こうして訳された日本語のイントネーションをバッハが独語のイントネーションのために作った音符に合致させ、その上歌い手が歌いやすい母音等をうまく配置するなどという事は、まさに至難の業というほかはありません。今宵の訳詞も団内で色々工夫し、かなり満足度の高いものにはなりましたが、決して完全ではないことをお許し下さい。ただ、各アリアに関しましては、苦慮した結果、前記の意義を考慮した上で、音楽的に見て、どうしても原語演奏の長所を取らざるを得ませんでした。（どうか対訳をご参照下さい。）一つの曲の演奏に原語と訳詞が混ざるとい、変則的な形の上演になりましたが、私達の真意をお汲み下さり、御理解いただければ、幸いです。